



平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萬代 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 下山 政行

TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日 平成23年10月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	36,763	1.2	5,313	1.6	5,501	21.4	2,869	30.7
23年5月期第1四半期	36,344	8.3	5,227	35.8	4,532	17.5	2,195	6.7

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 2,988百万円 (180.3%) 23年5月期第1四半期 1,065百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	15.82	15.79
23年5月期第1四半期	12.10	12.10

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	205,006		136,876			62.8
23年5月期	205,110		135,796			62.3

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 128,683百万円 23年5月期 127,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年5月期	—				
24年5月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,000	5.5	10,500	△0.6	11,000	10.8	6,000	24.8	33.09
通期	162,000	8.8	22,500	8.0	23,000	13.4	13,000	△0.0	71.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	182,503,570 株	23年5月期	182,503,570 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	1,187,531 株	23年5月期	1,182,975 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	181,316,996 株	23年5月期1Q	181,418,559 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）のわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に持ち直す動きがあるものの、海外経済の不安定さを背景とした急激な円高、株安懸念など先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは3ヵ年からなる中期事業計画Phase Iに沿って、重点事業への経営資源の最適配分、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンの推進、販売品目の整理等に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間は、機能化学品事業、医薬事業及びセイフティシステムズ事業が堅調に推移したことにより売上高は367億6千3百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は、機能化学品事業が堅調に推移したことに加え、原価低減が寄与し、53億1千3百万円（前年同四半期比1.6%増）、経常利益は55億1百万円（前年同四半期比21.4%増）、四半期純利益は28億6千9百万円（前年同四半期比30.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【機能化学品事業】

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂並びに紫外線硬化樹脂が顧客生産調整の影響を受け前年同四半期を下回り、機能性材料事業全体でも前年同四半期を下回りました。

電子情報材料事業は、光ディスク用樹脂が前年同四半期を下回りましたが、インクジェットプリンター用色素が前年同四半期を上回りました。ポラテックグループは前年同四半期を上回りました。電子情報材料事業全体では前年同四半期を上回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒が好調に推移し、前年同四半期を上回りました。

色材事業は、前年同四半期並みに推移しました。

この結果、売上高は181億8千8百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は34億8千6百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

【医薬事業】

国内向け製剤の抗がん剤は、「パクリタキセル注NK」、「ビカルタミド錠NK」、「カルボプラチン点滴静注液NK」が堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。「ランダ注」等が競合品等の影響により、前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では前年同四半期を上回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん剤）が前年同四半期を上回ったものの、輸出全体では前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料が前年同四半期を下回り、国内向け原薬全体では前年同四半期を下回りました。

診断薬は前年同四半期並となりました。

この結果、売上高は121億7千2百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は24億5千7百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

【セイフティシステムズ事業】

東日本大震災の影響により、日本だけでなく、日系自動車会社が展開する中国、北米などの市場でも部品の供給不足から、当社製品の需要は落ち込みましたが、当四半期の後半から需要は回復しつつあります。エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターともに前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は46億4千3百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益は2億9千2百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

【その他】

アグロ事業は、国内・輸出ともに前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は17億5千9百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益は3億8千6百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,050億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3百万円減少しました。主な減少は現金

及び預金8億2千2百万円、受取手形及び売掛金3億2千8百万円、有価証券16億4千6百万円、未収金(流動資産その他を含む)4億6千5百万円等であり、主な増加は棚卸資産18億6千8百万円、無形固定資産16億6千1百万円であります。

負債は681億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ11億8千2百万円減少しました。主な減少は未払費用(流動負債その他を含む)14億7千5百万円であり、主な増加は支払手形及び買掛金5億8千万円であります。

純資産は1,368億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千9百万円増加しました。主な増加は四半期純利益28億6千9百万円であり、主な減少は配当金の支払18億1千3百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く経営環境は東日本大震災の影響による厳しい状況から持ち直す動きがあるものの、依然として先行きが不透明な状況が続くものと思われまます。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー関連材料の研究開発の促進など新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成24年5月期第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、平成23年6月30日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,427	17,604
受取手形及び売掛金	46,945	46,617
有価証券	22,998	21,351
商品及び製品	15,515	16,565
仕掛品	2,088	2,511
原材料及び貯蔵品	7,043	7,439
その他	10,150	9,717
貸倒引当金	△36	△30
流動資産合計	123,132	121,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,372	31,695
機械装置及び運搬具（純額）	14,632	15,481
その他（純額）	14,548	13,207
有形固定資産合計	60,553	60,384
無形固定資産		
のれん	1,423	1,313
その他	2,248	4,019
無形固定資産合計	3,671	5,332
投資その他の資産		
投資有価証券	13,323	13,158
その他	4,216	4,168
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	17,451	17,238
固定資産合計	81,676	82,956
繰延資産	301	274
資産合計	205,110	205,006

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,262	14,842
短期借入金	10,917	11,009
未払法人税等	1,633	1,631
その他	14,080	12,830
流動負債合計	40,893	40,314
固定負債		
長期借入金	11,143	11,121
退職給付引当金	3,421	3,107
負ののれん	490	452
その他	13,364	13,133
固定負債合計	28,419	27,815
負債合計	69,313	68,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,265
利益剰余金	97,990	99,046
自己株式	△797	△800
株主資本合計	129,391	130,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	138
為替換算調整勘定	△1,769	△1,898
その他の包括利益累計額合計	△1,638	△1,760
少数株主持分	8,044	8,193
純資産合計	135,796	136,876
負債純資産合計	205,110	205,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	36,344	36,763
売上原価	21,639	21,044
売上総利益	14,704	15,719
販売費及び一般管理費	9,476	10,405
営業利益	5,227	5,313
営業外収益		
受取利息	16	19
受取配当金	175	176
負ののれん償却額	38	38
持分法による投資利益	53	90
保険配当金	156	96
その他	328	181
営業外収益合計	767	603
営業外費用		
支払利息	97	84
為替差損	1,186	199
その他	178	131
営業外費用合計	1,462	415
経常利益	4,532	5,501
特別利益		
固定資産売却益	7	1
特別利益合計	7	1
特別損失		
固定資産処分損	90	75
投資有価証券評価損	164	288
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
特別損失合計	323	364
税金等調整前四半期純利益	4,216	5,137
法人税、住民税及び事業税	902	1,573
法人税等調整額	928	393
法人税等合計	1,831	1,967
少数株主損益調整前四半期純利益	2,385	3,170
少数株主利益	189	301
四半期純利益	2,195	2,869

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,385	3,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△368	6
為替換算調整勘定	△950	△188
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,319	△182
四半期包括利益	1,065	2,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979	2,747
少数株主に係る四半期包括利益	86	241

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフテ ィシステ ムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,047	12,050	4,634	34,732	1,611	36,344	—	36,344
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	6	—	14	6	21	△21	—
計	18,055	12,056	4,634	34,747	1,618	36,365	△21	36,344
セグメント利益	3,186	2,444	334	5,964	419	6,384	△1,156	5,227

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△1,156百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,152百万円、セグメント間取引消去△4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフテ ィシステ ムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,188	12,172	4,643	35,004	1,759	36,763	—	36,763
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	—	—	1	7	8	△8	—
計	18,190	12,172	4,643	35,006	1,766	36,772	△8	36,763
セグメント利益	3,486	2,457	292	6,236	386	6,623	△1,309	5,313

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△1,309百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,314百万円、セグメント間取引消去4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。